

2010年度 事業報告書

公益財団法人 トト口のふるさと基金

2010年度 事業報告書

公益財団法人 トトコのふるさと基金

1. 狭山丘陵において自然環境の保存及び活用のための土地又は文化財等を取得して、その保存に支障のない範囲内で一般に公開する活動

本法人の主たる目的であるナショナル・トラスト活動の実現のために、寄付の呼びかけを積極的に行うとともに、狭山丘陵の土地等を取得する活動を行った。

(1) トトコのふるさと基金への寄付

今年度の基金への寄付は 572 件、7,474,101 円が寄せられ、基金の累計は総額 393,355,952 円に達した。

(2) トラスト地の取得

新たなトラスト地「トトコの森 12 号地」、「トトコの森 13 号地」、「トトコの森 14 号地」を取得した。

トトコの森 12 号地	5,168 平米	3,650 万円	2010 年 6 月 14 日取得
トトコの森 13 号地	1,443 平米	582 万円	2010 年 10 月 28 日取得
トトコの森 14 号地	336 平米	200 万円	2011 年 1 月 27 日取得

(3) 新たなトラスト地の取得を目指した活動の展開

地権者等への訪問及び連絡等

7 月 29 日（油屋）、9 月 6 日（4 号地隣接地権者）、10 月 8 日（吉川不動産）、11 月 25 日（蛇崩れ湧水）、12 月 6 日（北野ユズ園）

関東財務局の競売情報を定期的に点検した。

(4) トラスト基金への寄付の拡大

財団のパンフレットを 3,000 部作成し、一般向けに配布して入会や寄付への協力を呼びかけた。

(5) 土地等取得検討委員会の開催

土地等取得検討委員会規程に基づき設置した土地等取得検討委員会を次の日程で開催した。

第 1 回（6 月 9 日）所沢市北中の山林の取得について検討

第 2 回（9 月 24 日）所沢市堀之内、北野三丁目（不動橋際）、その他の案件を検討

2. 狭山丘陵に関わる自然環境及び歴史的景観の保護並びにそれに関する情報収集活動

狭山丘陵の地域資源の保全に資する情報の収集をすすめ、必要に応じて関係自治体その他の団体との協議を行い、狭山丘陵保全のための活動を展開した。

(1) 見学会「東京都側の狭山丘陵を巡る」の継続実施

第 3 回（4 月 3 日（土））西武遊園地駅から都立東大和公園・市立二つ池公園までのコースを歩き、24 名の参加があった。

第 4 回（6 月 12 日（土））西武園駅から東村山ふるさと歴史館までのコースを歩き、23 名の参加があった。

第 5 回（10 月 16 日（土））武蔵村山市歴史民族資料館から野山北・六道山公園里山民家までのコースを歩き、22 名の参加があった。

見学会「淵の森を歩こう」の実施

3月5日(土) 新秋津駅から淵の森、所沢駅のコースを歩き、46名の参加があった。

(2) 地域住民、関係団体との連携の強化

天神崎を守る会玉井氏の講演及び意見交換(5月24日)

日本ナショナル・トラスト協会総会出席(6月5日)

台湾のイルカ保護団体の視察受け入れ(8月31日)

(3) 関係自治体、企業等との協議

所沢市長あて要望書提出(12月10日)、市長と面談・要請(1月19日)

所沢市緑化推進会議に出席(7月21日)

菩提樹池周辺緑地に関する打合せ(12月21日)

都立野山北・六道山公園の整備及び管理運営に関する協議(5月9日、3月6日)

狭山3公園(狭山公園、東大和公園、八国山緑地)管理運営に関する協議(7月31日)

携帯電話用アンテナ設置に関する協議

狭山丘陵内での携帯電話基地局の設置について、NTTドコモとの協議を6月29日に、KDDIとの協議を10月1日に行った。

(4) 保護委員会の開催

保護委員会を10回開催した。

4月17日、5月15日、6月12日、7月24日、9月11日、10月16日、12月11日、1月15日、2月19日、3月12日

3. 狭山丘陵の保全のための普及啓発活動

狭山丘陵の自然やそこに息づく産業・文化などに関する情報を提供し、保全に向けた世論作りをすすめた。ナショナル・トラスト活動や里山保全に関する取材などに対して積極的に対応し、本法人の活動に対する理解を促した。また、会員の増加に努めた。

(1) 会員の状況

2010年度末の登録会員は1,334人で、内訳は正会員1,032人、高校生以下8人、家族会員266人、賛助会員19人、法人会員9社であった。前年度と比べて合計数での変動はなかった。

(2) 会報発行等の広報活動の充実

会員向け機関紙『トトロの森から』を会員・過去3年間の寄付者に向けて発行した。

第64号発行 5月28日

第65号発行 9月30日

第66号発行 1月20日

狭山丘陵周辺のイベント情報チラシ「トトロの里のかわら版」を毎月1回発信した。狭山丘陵周辺の公民館、博物館への配布及びメール配信をした。

(3) 狭山丘陵における体験活動の実施

ナショナル・トラスト活動や狭山丘陵周辺の環境保全活動の普及啓発のために、イベントを開催した。

2月6日に、60名の参加により「トトロのふるさとおおそうじ」を狭山丘陵周辺で行った。また、富士通総研、熊谷組、安心ダイヤル、あいおいニッセイ同和損保あんしん24などの企業や団体の協力を得て、狭山丘陵の清掃活動やトラスト地の維持管理作業に取り組んだ。

(4) ホームページの更新と運営

古くなっていたインターネットホームページを全面リニューアルし、公開した。本法人の活動について広く紹介するとともに、入会の呼びかけを行った。イベント情報やボランティア情報・報告などを毎月、定期的に更新するとともに、法人向けのページ、お問合せ・申込みフォームのページ

を新たに設置し、閲覧状況の分析を行った。

(6) 一般への広報活動

4月29日(トトロの森を歩く会・トトロのふるさと基金設立20周年記念)

5月15日(JTBトトロの森ツアー案内)

8月29、30、31日(所沢市役所市民ギャラリー「トトロの森の夏休み」)

11月7日(トトロの森12号地を歩く会)

(7) 広報委員会の開催

広報委員会を9回開催した。

4月25日、5月23日、6月19日、7月3日、8月8日、10月2日、11月21日、1月8日、3月6日

4. 里山の自然環境に関する調査・研究

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境の調査研究を行うことにより、里山の価値を再発見し、その保全の意義を明らかにした。

(1) 狭山丘陵の自然環境の調査の実施

トラスト地とその周辺の植生調査を8回行った。

5月9日、5月29日、8月14日、10月3日、12月12日、1月23日、3月10日、3月16日

トラスト地を中心に繁殖期後期の鳥類生息調査を13回行った。

1号地/5月18日、2号地/5月21日、3号地/5月18日、4号地/6月1日、5号地/5月15日、6号地/5月25日、7号地/5月29日、8号地/5月29日、9号地/5月15日、10号地/5月15日、11号地/5月29日、クロスケの家/5月23日、いきものふれあいの里センター/5月23日

北野の谷戸の鳥類調査を19回行った。

4月13日、4月26日、4月30日、5月9日、6月1日、6月10日、6月27日、7月18日、8月11日、8月22日、9月7日、9月12日、9月20日、10月18日、11月11日、11月21日、12月1日、12月5日、12月9日

北野の谷戸の植生調査を3回行った。

4月30日、5月28日、6月20日

北野の谷戸の水生生物調査を5回行った。

4月30日、5月28日、6月20日、7月13日、7月19日

(2) 自然環境調査報告書(第8集)の発行

トラスト地とその周辺の自然環境及び北野の谷戸休耕田復田後の自然環境の調査結果を報告としてまとめ、150部発行した。(3月20日)

(3) 調査結果の報告

・5月23日に、トラスト地とその周辺の自然環境および北野の谷戸の放棄水田の自然環境とその価値などについて、いきものふれあいの里センターにて調査報告会を行った。

・11号地の調査結果をもとに管理方針をまとめ、常務理事会に提案した。

(4) 所沢市役所市民ギャラリーにおけるトトロのふるさと財団の展示に説明者として参加した。

(5) 調査委員会の開催

調査委員会を11回開催した。

4月9日、5月14日、6月25日、7月10日、8月14日、9月18日、10月24日、11月28日、12月12日、1月23日、2月26日

5. 里山の管理の実践

トラスト地の適正な管理を実践するとともに、狭山丘陵の里山の管理に関して関係団体や行政との協働を進め、地元の農業者との連携を図りながら、地域住民や都市住民を主体とした里山の保全管理活動を行った。

(1) トラスト地等を活用して行う里山管理の実践

ナショナル・トラスト活動により取得した「トトロの森」の管理

1号地から9号地、及び13号地において、毎月第一日曜日の定例活動日及び臨時活動日に「トトロの森で何かし隊」のメンバーによる定期的な管理作業を行った。5号地では株式会社リコーのボランティアグループ、10号地では「ゆめとこファーム」の協力による管理作業を行った。

「トトロの森で何かし隊」の活動

a. トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。

1号地 9月5日

2号地 6月6日、11月14日

3号地 9月5日

4号地 4月10日、5月2日、7月4日、10月3日

5号地 10月3日

6号地 8月1日

7号地 5月2日、9月12日、9月20日、12月12日、1月8日、2月13日

8号地 6月19日、7月24日

9号地 7月4日、9月19日

13号地 1月29日

b. 新トラスト地13号地の見学を、1月22日に実施した。また、2月6日の「トトロのふるさと おおそうじ」に参加した。

c. 3月13日に総会を行った。

d. 企業ボランティア対応のサポートを行った。

e. 北野の谷戸保全プロジェクトへの作業協力を行った。

f. 見まわり隊によるトラスト地の見まわりを行った。

協力団体による管理作業

トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。

a. リコーボランティアグループ(5号地)

5月22日、6月26日、7月24日、10月3日、11月27日、12月25日、3月26日

b. ゆめとこファーム(10号地)

8月8日、10月30日、12月12日

企業ボランティアによるトラスト地の管理作業

企業ボランティアの協力を得て、トトロの森の管理作業を以下の日程で行った。

4号地 5月8日 コーサー労働組合

7号地 1月15日 熊谷組

2月26日 安心ダイヤル

11号地 11月6日 富士通総研

13号地 2月6日 あんしん24

業者委託によるトラスト地の管理作業

危険木・外来種の除去等のため、業者に委託して次のような管理作業を行った。

10号地 11月15日・16日 コナラの伐採作業

6号地 11月28日 ニセアカシアの伐採作業

(2) 里山管理技術研修会

里山管理作業に必要な機具の操作方法の研修を行った。

11月27日：ナタ・カマ・ノコギリ講習会をいきものふれあいの里センターで行った。

(3) 狭山丘陵各地で行われている管理作業への協力

「チカタの景観を考える会」による自然環境保全の取り組みに協力した。

「菩提樹田んぼの会」による菩提樹池周辺の自然環境保全の取り組みに協力した。

「トトロの里で耕し隊」による所沢市久米における雑木林と農地の管理作業に協力した。

援農ボランティアグループの「ゆめとこファーム」「荻原でおいしい野菜を食べる会」及び新しく結成された「エンジェルファーム」の取り組みに協力した。

(4) 里山委員会の開催

里山委員会を11回開催した。3月は東日本大震災の影響により中止とした。

4月16日、5月21日、6月18日、7月16日、8月20日、9月17日、10月15日、11月26日、12月17日、1月21日、2月16日

6. 里山の保全に関する環境教育の実施

狭山丘陵及びその周辺地域における自然環境や歴史的景観を維持・保全することの意義や大切さを広く社会に伝えることを目的として環境教育活動に取り組んだ。

狭山丘陵いきものふれあいの里センターをフィールドとしたものとトトロの森をフィールドとしたものがある。

(1) 「総合的な学習の時間」等を活用した学校での環境教育への協力

小手指事務所において講師の派遣等を行った。

10月20日(山口小学校) 3月17日(小手指中学校)

いきものふれあいの里センターにおいて、年間を通して学校に協力した。

所沢市立荒幡小学校20回、小手指小学校6回、泉小学校6回、北小学校2回、南小学校2回、三ヶ島小学校3回、美原小学校1回、その他所沢中学校、山口中学校、上山口中学校、東中学校坂戸高校で、延べ45回(生徒数4,109名)となる。

(2) 環境教育に関するワークショップ

8月3日に、教員を対象とした「自然・環境に触れ学ぶ体験活動研修会」の講師を務めた。

(3) 外務省主催アジア協力対話(ACD)への協力

12月16日、第7回環境教育推進対話に参加(いきふれ～トトロの森1号地)

(4) 公民館等で行う環境教育への協力

6月7日(小金井公民館)

7. その他本法人の目的を達成するために必要な事業

公益財団法人への移行認定申請を行い、認定書の交付を受けた。また、クロスケの家の整備を行い、事務所の移転を完了した。ナショナル・トラスト活動や里山保全を進める関係団体との協力、照会・相談等への対応を積極的に行った。その他、各事業の推進に必要な資金の一部をまかなうために、収益事業を行った。

(1) 公益財団法人への移行

公益財団法人への移行に向けた諸手続きを進め、内閣総理大臣から3月23日に認定書の交付を受けた。これにより、2011年4月1日付けをもって公益財団法人に移行することが確定した。

最初の評議員選定委員会の開催	6月23日
定款変更案の決議	7月3日(第3回臨時理事会)
移行認定申請書の提出	10月5日
公益認定等委員会から認定相当の答申	12月10日
認定書の交付	3月23日

移行準備

移行準備のために検討委員会の開催等を行った。

- ・ 公益法人認定検討委員会の開催 11月1日、12月21日
- ・ 移行認定に関する相談等
 - 公益認定等委員会事務局との相談 4月20日
 - 公益法人協会との相談 8月25日
- ・ 公益法人移行後の新理事による懇談会の開催 8月30日、10月12日、12月13日、2月15日

(2) クロスケの家の整備と活用

事務所移転とクロスケの家の活用に向けて、9月21日から1月29日にかけて改修工事を行った。母屋1階に事務所スペースを確保するとともに屋根の雨漏り対策や耐震補強等を行った。茶工場は鉄骨によって補強を施し、腐食した箇所を改修した。そのほか、羊小屋を駐車場に改造し、裏の家を撤去した。

契約	9月1日
着工	9月21日
竣工引渡し	2月2日
お披露目会	2月19日(98名参加)
事務所の移転	3月3日

クロスケの家管理運営委員会

クロスケの家の管理及び活用における課題の検討を行う「クロスケの家管理運営委員会」を立ち上げ、管理のあり方や公開規程案等を検討した。

	年月日	主な検討項目
第1回	12月4日	クロスケの家に係るこれまでの経緯及び今後の予定
		検討課題の説明
		これからの進め方
第2回	1月30日	管理のあり方について
		利用規程案の検討
		運営資金の確保方策について
第3回	2月20日	利用規程案の検討
		衣類・民具の保管方法
		危機管理対策について

クロスケの家管理ボランティア

ボランティアの協力を得て、改修工事が開始される8月末までは可能な限り毎日開館するように努め、来訪者への適切な対応を図った。登録メンバーは11人(2010年度末時点)。これにより、毎月平均22日間を開館することができた。

- ・ ボランティア懇談会開催 8月1日
- ・ ボランティア管理の参考事例として旧安田邸訪問 1月26日

・引越し前の片付け作業（埼玉大生ほか） 2月13日

（3）北野の谷戸保全プロジェクトの推進

2010年度から委員会横断的なプロジェクト組織（＝北野の谷戸保全プロジェクト）を設置し、ボランティアの協力を得て、復田保全作業を行った。2010年度は北野の谷戸での復田作業・稲作を始めてから初の米の収穫を行うことが出来た。

プロジェクト会議の開催

プロジェクト会議を10回開催した。

4月23日、6月19日、5月28日、8月22日、10月8日、12月3日、1月16日、2月6日、
3月8日、3月20日

復田作業等の実施

5月16日 田植準備（代掻きクロづくり）
5月30日 田植
6月27日 草とり
7月18日 草とり
8月22日 草とり
9月12日 稲刈り準備（竹伐り、はざかけづくり）
9月20日 稲刈り準備（竹伐り、はざかけづくり）
9月26日 うるち米稲刈り
10月1日 もち米稲刈り
10月17日 脱穀
11月21日 初摺り
1月16日 新米試食会
3月20日 畦の補修

（4）狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理事業

2006年度から5年間にわたって続けてきた埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センターの指定管理事業は、2010年度で指定期間が終了することとなった。そこで、2011年度から2015年度までの5年間の指定管理者の募集があったので、9月7日に申請書を埼玉県宛てに提出した。

審査の結果、1月4日付けの埼玉県告示によって指定され、3月16日に基本協定書を締結したことにより、引き続き同センターの指定管理業務を行うこととなった。

2010年度の指定管理業務の実施（別紙）

（5）収益事業の実施

トトロファンダグッズの企画・製作・販売や出版物の販売等を行った。

（6）照会、相談等への対応及び活動広報等

本法人の活動紹介と狭山丘陵の案内等を行った。

表彰受賞

6月7日（環境大臣から環境保全功労者等表彰を受賞）
3月22日（NHKさいたま放送局から感謝状）

講演

9月14日（所沢西ロータリークラブ卓話）
9月16日、22日（ところざわ倶楽部）

取材等への対応

4月9日(ナショナルジオグラフィックモバイル版) 4月10日(散歩の達人MOOK「ママさんぼ」)
5月13日(ジーニアスエデュケーション) 6月1日(埼玉県道徳教材) 6月4日(e-Toko!)
6月24日(るるぶ埼玉10年度版) 6月29日(小手指タワーズWEBサイト)
7月6日(市民新聞) 7月7日(月刊MOE)(J-WAVE HAPPINESS!) 8月13日(東京FM)
8月18日(社会科資料集) 8月23日(NHK) 9月6日(朝日新聞東京本社)(国分寺丸井リー
フレット) 9月14日(リクルートSUUMO) 10月13日(朝日新聞西埼玉支局) 11月9日(埼玉
新聞) 11月12日(Youth Acty!) 11月24日(日本青年団協議会) 1月25日(Hondaでかけよ
っ) 2月9日(市民新聞) 2月14日(埼玉ぴあ) 2月28日(西武沿線アニメマップ) 3月10
日(さとえ学園新聞)

丘陵案内

4月22日(若菜会) 4月30日(フランス、モッテ教授) 5月15日(JTB首都圏)
6月7日(小金井市公民館東分館成人学校) 8月26日(静岡県八津山友の会) 11月19日(東
京都環境局職員互助会) 12月4日(東京学芸大学原子教授ほか) 12月13日(川根本町教育委
員会) 2月28日(台南市生涯教育者訪日研修団)

企業ボランティアの受け入れ

5月8日(コーセー総合労働組合) 6月6日(オムロン労働組合) 11月6日(富士通総研)
1月15日(熊谷組グループ) 2月6日(あんしん24) 2月26日(安心ダイヤル)

シンポジウムへの参加

6月2日(環境省主催:環境シンポジウム)
8月10~14日(森林・景観・生物多様性シンポジウム/フランス)

研修会

11月23日(早稲田大学~クロスケの家、24名参加)

(別紙)

2010年度

狭山丘陵いきものふれあいの里センター指定管理業務に係る事業報告書

(2010年4月1日から2011年3月31日まで)

1 管理業務の実施状況

「狭山丘陵の自然を通して自然について学習する機会を設け、県民の自然との触れ合いを推進し、自然保護思想の普及を図る」という設置目的を達成するため、自然観察講座、里山体験講座などの事業の実施及びセンター等の施設の適切な管理を行った。

なお、2010年度においては、下記の事項について特に配慮した管理を行った。

生物多様性記念連続講演(新規)

生物多様性年にちなみ、国内の生態学関連において最先端の研究者による講演を実施し、生物多様性への理解を広めた。

「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」(新規)

科学技術振興機構(JST)によるサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業を埼玉県立所沢高等学校と連携して行った。

歴史陽だまり散歩(新規)

東京都東村山市立八国山たいけんの里と都県境を越えて連携し、狭山丘陵の歴史と自然を解説する新たな趣向を凝らした観察会を実施した。

周辺の自然ふれあい施設等との連携(新規)

東村山市立八国山たいけんの里とのイベントの共同開催、所沢市立生涯学習センターとの展示協力、早稲田大学との共催による自然観察会の実施や展示、講演会の実施、埼玉県立自然の博物館との連携による土壌動物の模型や資料展示の実施、緑の森博物館との広報の連携など協力して行った。

地域の企業、団体との連携(充実)

西武鉄道と所沢市との共同開催で「所沢市制60周年記念ウォーキング」を行ったほか、西武鉄道との共催のウォーキングを2回行った。また、所沢市の市民大学受講生からなる市民団体の「ところざわ倶楽部」と連携して講演会や展示発表を行った。

広報活動の拡大(充実)

NHK FMによる狭山丘陵の自然やイベント情報を紹介する番組「狭山丘陵森だより」を月2回、FMチャッピーとの番組を月1回担当し自然情報の発信に努めた。また、所沢市役所のロビーや第4紀学会でポスター発表を行い、センター活動の紹介を行った。

マスコミへ情報発信にも力を入れ、テレビ埼玉や科学技術振興機構の「サイエンスニュース」などに取り上げられた。このような取り組みが評価され、NHKさいたま放送局より功労者表彰を受けた。

団体対応(充実)

狭山丘陵の自然を紹介するため外務省主催アジア協力対話（ACD）環境教育推進対話を始めとした多くの団体を受け入れた。

教育機関等の環境学習への支援(充実)

狭山丘陵の植物の多様性を子どもたちに知ってもらうため、所沢市内全ての小学校へオリジナルの植物図鑑を無料配布した。また、小中学校の「総合的な学習の時間」の授業への協力をはじめ、高校・大学などの社会貢献活動などの授業の支援を行った。その結果、荒幡小学校が「埼玉・教育ふれあい賞」を受賞した。

来館者への対応(充実)

季節ごとのテーマ展示や生物多様性に関する特別展示、他の諸機関や他団体との連携による特別展示を実施し、リピーターでも楽しめる館内展示の充実を図った。また、来館者とのコミュニケーションをできるだけとるように心がけ、来館者それぞれのニーズに合った情報の提供を行った。自然情報は館内の情報コーナーの他に、自然情報掲示板でも適宜更新を行ってサービスに努めた。

里山体験講座(充実)

「お茶摘み体験講座」や「郷土食『うどん』作りに挑戦！」、「まゆ玉飾りで小正月を祝おう」、「雑木林管理とシイタケの駒打ち」など地元に根ざした文化や食生活の伝承を分かりやすく、そして、実施回数を増やして実施した。

自然観察会の実施(充実)

幼児とその保護者を対象とした「ひよこたんけんたい」、親子など初心者を対象とした「初めての自然観察会」、大人を対象とした「大人のための自然観察会」など様々なニーズに応えた自然観察会を実施した。

ボランティア育成(充実)

「埼玉県狭山丘陵いきふれ会」(いきふれ会)による園路の巡回などスポットの管理をボランティアの協力を得て行った。また、館内案内の研修や他施設の見学の実施、観察会などのイベントへの協力要請などを行い、ボランティアの育成に力を入れた。また、「堅香子の会」や「ふれ炭会」と、「炭焼き」や「植物画の展示」などのイベントを共同で行った。

(1) 自然観察会等のイベントの実施

主なイベントとその実施状況は下表のとおりである。

イベント一覧

イベント名	内 容	実施時期	実施回数
【新規】 生物多様性記念連続講演	生物多様性年にちなみ、生態学の研究者による講演によって生物多様性について広く理解を深める。	5、6、7、9、 10、11月	6回

【新規】 サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)	SPP事業を埼玉県立所沢高等学校と連携して、実施した。講座名は「雑木林の自然」。	10月から 11月	5回
【新規】 歴史陽だまり散歩	東京都にある歴史学習施設『八国山たいけんの里』と狭山丘陵の歴史と自然を解説する観察会	4、8月	2回
【充実】 里山体験講座	昔の里山の暮らしや年中行事等の文化・習俗を楽しく体験し、狭山丘陵の魅力を見出すための講座	5、6、9、 10、12、 1、3月	10回
【充実】 初めての自然観察会	親子で野外での体験活動を始め、きっかけを提供する観察会。	7、12、2月	3回
【継続】 大人のための自然観察会	大人を対象にした狭山丘陵の自然を楽しむ初心者向け観察会。	4、9、11、 1、3月	5回
【継続】 ひよこ探検隊	親子（幼児とその保護者）を対象に自然の中で楽しく過ごし、自然の良さを知ってもらうための体験教室。	5、7、11、 2月	4回
【継続】 狭山丘陵ウォーキング	狭山丘陵の魅力をもっと多くの県民に伝えるためにウォーキングを実施。	6、11、 1月	3回
【継続】 ガイド・ウォーク	季節に応じてセンターエリア内の自然をスタッフと歩きながら解説をする。	毎月2回 (第一土、 日曜日)	17回

(2) 教育機関への協力

小中学校等への「総合的な学習の時間」などの授業協力では、事前に綿密な打ち合わせを行い、各学校の要望を十分取り入れたオーダーメイドの教育プログラムを作成し対応にあたった。プログラム提供場所としては、狭山丘陵のエリア内に限らず、学校に直接出向いて実施するプログラムも実施した。また、本年度は埼玉県立所沢高校とサイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)の連携事業を行った。

1)サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)事業の実施

埼玉県立所沢高等学校と連携して、「雑木林の自然」と題した講座名でサイエンス・パートナーシップ・プロジェクトを実施した。センター周辺の雑木林の成り立ちについて講義と観察による実習を行った。また、土壌動物について講義・採集・観察・まとめと発表をセンターと所沢高校で実施した。土壌動物実習の様子はJSTのサイエンスニュース(10月21日)で配信された。また、事業の成果は平成22年度 文部科学省 科学技術・理科大好きプランSPP報告書「雑木林の自然～土壌動物の調査)」としてまとめられた。

2)対応団体内訳

区分	幼稚園 保育園	小学校 中学校	高校 大学等	その他	合計
団体数	36件	54件	16件	100件	216件
利用者数	1100名	4398名	235名	2281名	8014名

3) 主な学校団体の利用状況

利用団体名	内 容	延べ人数
荒幡小学校 6 年生	総合学習の時間を使った狭山丘陵全般	523 名
荒幡小学校 3 年生	総合学習の時間を使った虫の観察	401 名
泉小学校 3 年生	総合学習の時間を使った虫の観察	316 名
小手指小学校 4 年生	総合学習の時間を使った樹木の観察	260 名
三ヶ島小学校 5 年生	ナショナル・トラストについて	232 名

4) インターンシップの受け入れ

環境教育に必要な実践能力を有する人材の育成と、狭山丘陵の保全に貢献できる後継者の育成に資するためにインターンシップを受け入れた。

活動内容は、館内解説や展示物作成、イベントの補助である。

学 校 名	人 数	受 け 入 れ 期 間
埼玉大学	1 名	6/24 (木) ~ 3/10 (日)
筑波大学附属高校	6 名	7/28 (水)
東京農業大学	2 名	8/24 (火) ~ 29 (日)
所沢市立東中学校	5 名	11/9 (火) ~ 11 (木)

参加合計：14 名

5) 環境教育に関するワークショップの開催

小学校教員を対象とした「自然・環境に触れ学ぶ体験活動研修会」【8月3日(火)県立総合教育センター江南支所】の講師を務めた。自然体験活動の重要性を伝え、実際に授業に取り入れてもらうために、授業にすぐに活かせる様々なプログラムを提供した。研修会の内容は J S T のサイエンスニュース (8月26日) で配信された。

(3) 生物多様性への取り組み

生物多様性年にちなみ、多くの方々に生物多様性についての理解を深めてもらうために「生物多様性って何?」と題した連続講演を6回開催した。また、これを機会により多くの県民にセンターに足を運んでもらうことも考慮した。

講師には国内の第一線で活躍されている生態学者を招き、最新の情報をもとに、以下のようなテーマで講演を実施した。

講 演 名	講師名	実施日	参加者
里山の鳥から生物多様性を知る	上田恵介氏・立教大教授	5/29(土)	40 名
「森林の働き」を生物多様性の持つ生態系サービスの観点からみる	森川靖氏・早稲田大学教授	6/19(土)	28 名
シカとアライグマと生物多様性	三浦慎吾氏・早稲田大教授	7/17(土)	71 名
トガリネズミからヒグマまで	大館智志氏・北海道大学助教	9/23(土)	32 名
小さな仲間の大きな役割	牧林功氏・埼玉県昆虫談話会顧問	6/27(日)	34 名
里山の生物多様性と保全	大堀聰氏・早稲田大学自然環境調査室長	9/11 (土)	35 名

実施回数：6 回 参加者合計：240 名

(4) 地域の文化に根ざした活動

昔の里山の暮らしや年中行事等の文化・習俗を楽しく体験し、狭山丘陵の魅力を再発見するため、

里山体験講座として地元の荒幡富士保存会の方を講師に招いてイベントを実施した。特に昨年度応募が多く寄せられた『お茶摘みとお茶作りに挑戦』は、実施回数を増やし実施をした。

イベント名	実施日	参加者
『お茶摘みとお茶作りに挑戦！』	5/16(日)	23名
『お茶摘みとお茶作りに挑戦！』	5/22(土)	24名
『お茶摘みとお茶作りに挑戦！』	5/27(木)	12名
『お茶摘みとお茶作りに挑戦！』	6/2(水)	13名
『郷土食「ゆでまんじゅう」を作ろう！』	6/27(日)	23名
『月見だんごと十五夜かざり』	9/11(土)	27名
『ハンカチを自然の色で染めよう!』	10/17(日)	10名
『郷土食「うどん」をつくろう』	12/11(土)	18名
『まゆ玉飾りで小正月を祝おう!』	1/8(土)	15名
『雑木林管理とシイタケの駒うち』	3/13(日)	17名

実施回数：10回 参加者合計：182名

(5) ボランティア育成・埼玉県狭山丘陵いきふれの会

センター管理地域を中心に定期的な巡回や作業を行うとともに、自然情報の収集やイベントのスタッフ補助などに取り組んだ。スポットエリアの維持管理や、来訪者対応の向上を図った。

また、スキルアップ講座を開催し組織の充実を図った。

活動分野	述べ実施回数	述べ参加者	主な内容
公園管理・調査	36回	110名	各スポットの巡回、自然情報の収集、解説看板の修繕、園路柵の修繕、園路の草刈など
イベント補助	8回	24名	お茶摘み、夜の自然観察会、大人のための自然観察会など
その他	4回	54名	通信の発送、スキルアップ講座など

総活動数：48回 延べ人数：188名

いきふれの会スキルアップ講座

場 所	東京都立野山北六道山公園
実施時期	12月4日(土)10時から16時
目 的	狭山丘陵の東京都側の公園を視察し、活動の参考にする。

(6) 地域企業との連携

地元企業と連携して、狭山丘陵の素晴らしさ、センター施設の重要性を伝えるためのイベントを行った。

企業名	実施時期	内 容
西武鉄道株式会社	6/10(木) 11/14(日) 1/13(木)	ウォーキングイベントを共催した。11月14日は所沢市も交えて実施した。
株式会社 安心ダイヤル	7/28(木) 8/1(月)	社員の家族の自然観察会を企画・実施した。
NHKさいたま放送局	4/25(月) 2/16(水)	トトロの森の音たんけん隊 トトロの森のひよこたんけん隊

(7) 展示関係

展示物を定期的に更新することで魅力ある館内展示をこころがけた。来館者に好評のチョウの標本は、センターエリア内で採集した蝶と蛾類で、季節ごとに更新し展示した。夏の昆虫展はセンターエリア内のセミの抜け殻調査を来館者に協力してもらい、その結果を随時ポスター展示するという市民参加者型のスタイルを取った。

生物多様性年にちなみ、菌類の標本と専門家による解説ポスターに加えて、堅香子の会の会員によるキノコの実物展を合わせた立体的な展示を行った。また、市民団体である「ところざわ倶楽部」、所沢高校地学部や早稲田大学など、地域の団体や教育機関と協力した展示や埼玉県立自然の博物館と連携した特別展を行った。

センターの外では、夏休みの期間中、所沢市生涯学習推進センターで実施された「身近な虫と鳥たち展 with ハチの巣博覧会」に標本と写真を提供した。また、所沢市庁舎のロビーで行われた「トトロのふるさと財団」の展示コーナーでセンターの活動紹介の展示を行った。

主な展示内容	展示時期
春展示（春から夏への森の変化の様子と渡り鳥の解説。）	4月～6月
菌類展示（菌類世界の多様性を標本とポスターによって解説。）	6月～7月
夏の昆虫展示（昆虫の生態を生息場所ごとに解説。）	7月～10月
ところざわ倶楽部展示（クラブの活動の紹介と解説。）	8月～9月
埼玉県立所沢高等学校地学部展示（丘陵の立体模型等）	11月～3月
植物画展示を年2回（堅香子の会の会員の原画を展示）	5月、11月、
自然の博物館との土壌動物展示（模型展示と動物の生体展示）	11月～3月
早稲田大学自然環境調査室展示（調査室の取り組み）	2月～3月

(8) 広報活動

1) 「NHKさいたま」との番組作り

狭山丘陵の自然の素晴らしさを自然の音と共に伝える番組を放送した。

隔週の火曜日午後6時よりNHKさいたまFM(85.1)「日刊さいたまーず」にて「狭山丘陵森だより」として放送を実施した。

主な放送内容	放送時期
花めぐり鳥メジロ	4/13
ウグイスのさえずり	4/27
森の賢者 フクロウ	5/18
森の歌い手 キビタキ	6/1
大合唱のオオヨシキリ	6/15
スズメの会話	6/29
夏を告げるニイニイゼミ	7/13
夕暮れを告げる合唱 ヒグラシ	7/27
夏の終わりを告げるツクツクボウシ	8/24
旅する珍鳥ヒヨドリ	9/7
秋を告げるツツレサセコオロギ	9/27
鳴く虫の女王 カンタン	11/5
ソプラニスタなエンマコオロギ	10/19
森を作る鳥 カケス	11/2

青くないのにアオマツムシ	11/16
樹上を転がる毛糸玉エナガ	12/7
里山の冬鳥代表アオジ	12/21
渋い個性派ツグミ	1/18
貯蓄鳥 ヤマガラ	2/1
春を告げる合唱 ヤマアカガエル	2/15
春よチョットコイ～コジュケイ～	3/1

実施回数：21回

2) エフエム茶笛(チャッピー)の番組出演と情報提供

エフエム茶笛(チャッピー)は、埼玉県西部地域・東京都多摩西部地域の情報を提供しているコミュニティFM局である。平成22年度10月から月1回の割合で情報番組に出演し、センターの行事案内と自然情報の提供を行った。

【放送は10/14、11/11、12/9、1/13、2/10、3/10の6回】

3) マスコミ等への情報提供

ミニコミ誌、読売新聞や東京新聞の地方版などに情報を提供しイベントの情報や施設の周知を図った。また、県や所沢市とも連携し所沢市報「広報ところざわ」に12回、「彩の国だより」に5回、イベントや自然の情報などを掲載した。

科学技術振興機構のホームページにあるサイエンスニュースにセンターの活動の様子を紹介してもらった。

主な掲載媒体及び掲載回数等

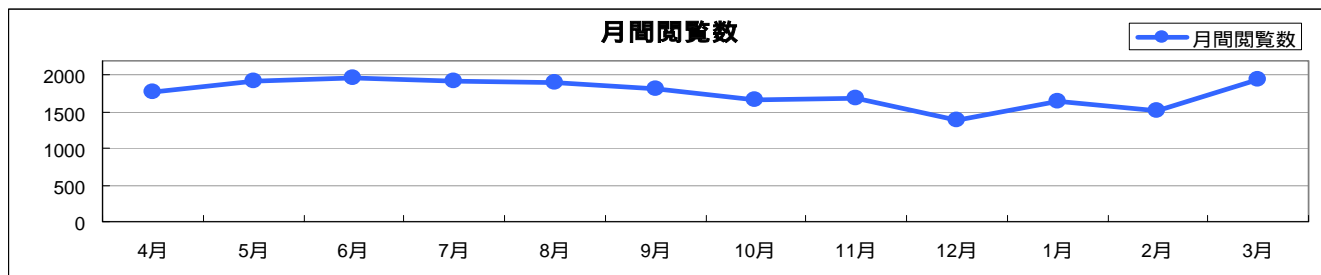
名称	発行地域	発行形態	発行団体	掲載回数
広報ところざわ	所沢市	市報	所沢市	12
彩の国だより	埼玉県	県報	埼玉県	5
タウンジャーナル	川越・所沢・志木	雑誌	求人ジャーナル	4
茶笛	入間・所沢	雑誌	FMチャッピー	4
サイエンスニュース	全国	HP	科学技術振興機構	3
e-Toko	所沢市	雑誌	すまいる広告事業協同組合	2
さあ、言おう	全国	雑誌	公益財団法人さわやか福祉財団	1
熟年ばんざい	所沢市	雑誌	すまいる広告事業協同組合	1
チビタビ	埼玉県	冊子	埼玉県	1
東京新聞	関東地方	新聞	東京新聞	1
読売新聞	全国	新聞	読売新聞	1

掲載回数：35回

4) ホームページの運営

所沢市役所やNHKさいたま放送局のホームページ内に相互リンクを設定し、認知度の向上をはかった。また、ブログを立ち上げ情報発信力を強化した。

ホームページ閲覧数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月間閲覧数	1763	1932	1963	1919	1909	1816	1672	1695	1380	1640	1524	1942

5) 広報紙等の発行

センターの活動の紹介やイベントや自然情報を掲載した自然情報誌「いきふれ通信」を4回発行し、所沢市すべての小学校と公民館、首都圏の関連自然施設にも送付し、施設やイベント情報の周知をはかった。

(9) 利用者の利便性向上

樹木に樹木名板を設置し、来園者がより自然に親しめるよう努めた。

また、狭山丘陵の植物の多様性を子どもたちに知ってもらうため、所沢市内の全小学校へ、当センターオリジナル植物図鑑の無料配布を行った。

(10) 施設の維持管理

- 1) 館内に新たな空調設備を設置するとともに水道設備の改修を行った。
- 2) 所沢市とエリア内の施設の点検を実施し、園地管理業務分担を再確認した。
- 3) 各スポットについては、自然情報の収集も兼ねて定期的にセンター職員といきふれの会が巡回をすることで適切な維持管理に努めた。ゴミの不法投棄があった場合や不審火の多くなる季節などは、所沢市や警察とも連携し、双方で巡回を強化するなどの対応をとった。
- 4) 下山口からセンターまでの標識の新設や案内板の整備を行った。各スポットのベンチや木道の改修を行った。
- 5) センターの夜間警備や空調設備や消防設備の保守点検、施設の清掃については専門業者に委託することにより適正な管理を行った。
- 6) エリア内の木柵の修理を所沢市と協力して行った。

(11) 緊急時の発生状況及びその対応

12月に訓練を行い緊急時の対応に備えた。また、3月の東日本大震災発生時には緊急時対応マニュアルに基づいて対応し来館者の安全を確保した。

(12) 運営協議会の運営

センターの円滑な管理運営を推進し有効利用を図るため、18年度に設置した埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター運営協議会（以下「協議会」という。）を2回開催した。（6月及び12月）

- ・協議会委員 学識経験者、自然系、文化系等の地域団体の代表者、
地元学校等 8名
- ・協議事項 事業計画推進状況および管理運営の方向性等について

2 施設の利用状況

(1) 利用者別利用状況

区分	大人			小人（中学生以下）			合計
	一般	団体	計	一般	団体	計	
入館者数	11,535	4,558	16,105	2,922	5,514	8,436	24,541

(2) 主な団体の利用内容（学校関係は除く。）

利用団体名	内 容	延べ人数
堅香の会	植物画	141名
ふれ炭会	炭焼きの会役員会	1,126名
ところざわ倶楽部	講演会、展示	108名

(3) 施設利用状況（利用施設区分別）

区 分	講義室	展示室
利用件数	86件	0件